eo光 HIKARI

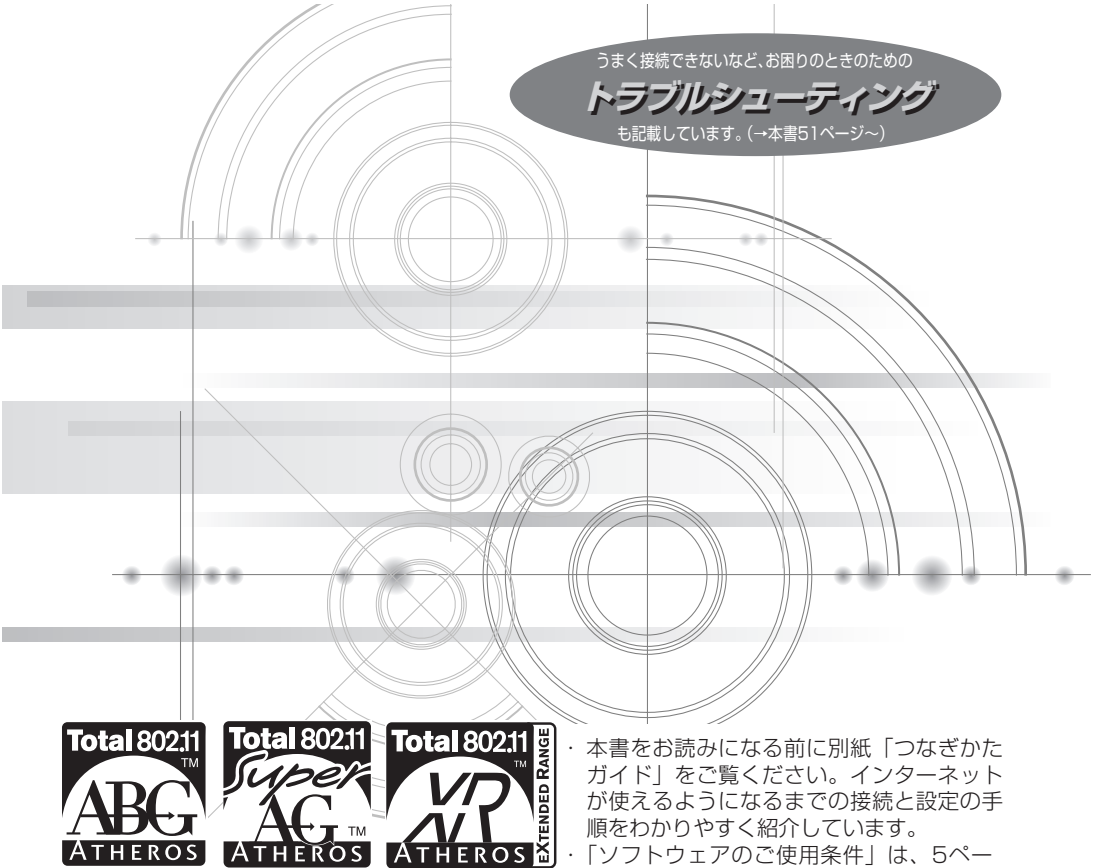
NEC

Aterm® WR6650S(eo)

ご利用ガイド

本機器をご使用の前に、本書を必ずお読みください。
また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

うまく接続できないなど、お困りのときのための
トラブルシューティング
も記載しています。(→本書51ページ～)



Total 802.11 ABG ATHEROS
Total 802.11 Super AG ATHEROS
Total 802.11 VR ATHEROS EXTENDED RANGE

- 本書をお読みになる前に別紙「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
- 「ソフトウェアのご使用条件」は、5ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

AM1-000472-001

目次

目次 ……2
はじめに ……3
ソフトウェアのご使用条件 ……5
本機器に添付の CD-ROM について ……7
安全にお使いいただくために必ずお読みください ……8
クイック設定 Web のご利用について……16
クイック設定 Web をご使用になる前に ……16
クイック設定 Web の起動のしかた ……18
無線 LAN をご利用になる場合……19
無線動作モードについて ……21
無線 LAN 内蔵パソコンから接続する……23
らくらく無線スタート EX で設定する場合……24
Windows® のワイヤレスネットワークで設定する場合 ……30
AirMac カード内蔵のパソコンから接続する場合 ……42
セキュリティ対策をする……44
セキュリティ機能について ……44
他の無線 LAN パソコンから本機器に接続できないようにする ……45
無線暗号化を設定する ……45
ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定する ……47
MAC アドレスフィルタリング機能……49
トラブルシューティング……51
設置に関するトラブル ……51
無線 LAN に関するトラブル ……57
ご利用開始後のトラブル ……62
パソコンのネットワークを設定する ……66
JavaScript® の設定を確認する ……72
遠隔サポートについて……76
遠隔サポートを許可する ……76
本機器の初期化……77
クイック設定 Web で初期化する ……77
RESET スイッチで初期化する……78
各部の名前……79
確認シート……81
お問い合わせ……84
お問い合わせについて ……84
本機器の輸送時のお取扱いについて ……84

はじめに

本機器をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

本書に記載の無線LANアクセスポイント（親機）とは、eo光ブロードバンドルータのことを指します。

●インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

●ご注意

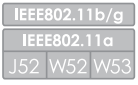
（1）本書の内容の一部または全部を無断転載･無断複写することは禁止されています。
（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3）本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り･記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4）本装置の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5）セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
（6）せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

■電波に関する注意事項

- IEEE802.11a通信利用時は5.2GHz、5.3GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁じられています。
- IEEE802.11aで使用するチャネルは36,40,44,48ch（W52）と52,56,60,64ch（W53）です。従来のIEEE802.11aで使用の34,38,42,46ch（J52）の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。

・W52（5.2GHz帯/36,40,44,48ch）、
W53（5.3GHz帯/52,56,60,64ch）が利用できます。

無線LAN端子（子機）として利用する機器は、以下のマークがついたものを推奨します。



・J52（5.2GHz帯/34,38,42,46ch）、
W52（5.2GHz帯/36,40,44,48ch）、
W53（5.3GHz帯/52,56,60,64ch）が利用できます。

- W53（52/56/60/64ch）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
  2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。

2.4 :2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF :DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4 :想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ :全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

（1）本機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
（2）万一、本機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機器の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
（3）その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

Windows® および Windows Vista™ は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows® XP は、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system の略です。
Windows® 2000 Professional は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略です。
Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の略です。
Windows® 98 は、Microsoft® Windows® 98 operating system の略です。
Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer,Inc.の商標です。
AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Computer,Inc.の商標です。
Netscape® は米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。
「プレイステーション」および“PSP”は株式会社ソニー・コンピュータ・エンタテインメントの登録商標です。
ニンテンドー DS は任天堂の登録商標です。Wii は任天堂の商標です。
JavaScript® は米国 Sun Microsystems. Inc.の登録商標です。
Linux® は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Atheros™、ABG、Super AG、XR および Total 802.11 のロゴは Atheros Communications, Inc.の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2006、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2006
日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

本機器に添付の CD-ROM には、弊社が提供するユーティリティソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC ・ NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

（1） 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
（2） お客様は 1 ケ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
（3） 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
（4） 許諾プログラムの使用権は、上記（2）または（3）により終了するまで有効に存続します。
（5） 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

（1） お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続しご使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
（2） お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

（1） お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
（2） お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

（3） 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

（1） お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。

（2） お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

（1） お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

（1） 弊社は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

（2） 前項の規定に関わらず、お客様による本機器のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。

（3） 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

（1） 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

（1） お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。

（2） 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

本機器に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「メニュー画面」をよくお読みください。

・無線 LAN のセキュリティ設定を行う「らくらく無線スタート EX」（Windows® 版）

【ご使用上のご注意】

● 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。

① Windows® の［スタート］をクリックし、［ファイル名を指定して実行］を選択する
※Windows Vista™の場合は、Windows ® の［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［ファイル名を指定して実行］を選択する

②名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、［OK］をクリックする
（例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q：¥menu.exe）
また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。

● CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。

CD-ROM の動作環境

● Windows® 動作環境

- **Windows® XP および Windows Vista™ が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。**
- **推奨環境**

ハードディスクの空き容量：30MB 以上を推奨
Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
メモリ 32MB 以上
800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ

お知らせ

●表示画面

・サイズ ：800 × 600 ピクセル以上
・色　　：High-Color 以上

上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

●「メニュー画面」とらくらく無線スタート EX の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。

・Windows® ： Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

安全にお使いいただくために必ずお読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本機器を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 警　告　：人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注　意　：人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い　：本機器の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠ 警　告

電源

- AC100V の家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
  差込口が２つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品の AC アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
  また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本機器の AC アダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- AC アダプタ（電源プラグ）は必ず本機器に添付のものをお使いください。また、本機器に添付の AC アダプタ（電源プラグ）は他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- AC アダプタ（電源プラグ）にものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

⚠警　告

- 本機器添付のACアダプタ（電源プラグ）は日本国内AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本機器のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本機器を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本機器のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機器のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本機器のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本機器を落としたり破損した場合は、すぐに本機器のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠警　告

禁止事項

- 本機器は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本機器を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ぬれた手で本機器を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本機器の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 植込み型心臓ペースメーカを装着されている方は、本機器をペースメーカ装着部から 22cm 以上離して使用してください。
  電波により影響を受ける恐れがあります。
- 本機器のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本機器を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
  人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠注　意

設置場所

- 本機器は温度０～40℃、湿度 10 ～ 90 %の結露しない環境でご使用ください。
- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
  また、本機器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  ・じゅうたんや布団の上に置く
  ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本機器を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本機器を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本機器の両側は十分なスペースを確保してください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本機器の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

⚠注　意

電源

- 本機器のACアダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずACアダプタ（電源プラグ）をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本機器のACアダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本機器のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本機器のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。

禁止事項

- 本機器に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」（別紙）に従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 本機器のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。

お願い

設置場所

- 本機器を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・振動が多い場所
  - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本機器をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本機器と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本機器とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

STOP お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機器が正常に動作しないことがあります。
- 本機器を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本機器の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本機器を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線LANに関する注意

- 最大54Mbps（規格値）や最大11Mbps（規格値）は、IEEE802.11の無線LAN規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- IEEE802.11aの通信モードは、5.2GHz、5.3GHz帯域の電波を使用しており、屋外での使用は電波法により禁止されています。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN/LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

クイック設定 Web のご利用について

本機器のさまざまな機能をご利用になる場合は、クイック設定 Web（WWW ブラウザ）で設定を行います。（本機器のさまざまな機能については、「機能詳細ガイド」で詳しく説明しています。）
ここでは、クイック設定 Web をご使用になる前の確認事項と起動のしかたについて記載しています。クイック設定 Web の詳しい使い方については、「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」をご覧ください。

※「機能詳細ガイド」は、ホームページ（http://support.eonet.jp/router/）よりご覧ください。

クイック設定 Web をご使用になる前に

クイック設定 Web をご使用になる前に、お使いになるパソコンの WWW ブラウザ（Internet Explorer など）について、以下を確認してください。

対応している WWW ブラウザのバージョン確認

- **Windows® XP/2000 Professional/Me/98 および Windows Vista™ の場合**
  Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5 以上に対応
  Netscape® 6.1 以上に対応
- **Mac OS X/9.x/8.x の場合**
  Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0 以上に対応
  Netscape® 6.01 以上に対応

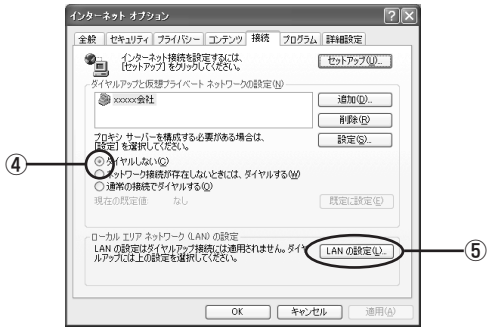
JavaScript® の設定確認

JavaScript® の設定が有効になっていることが必要です。
（☛P72「JavaScript® の設定を確認する」参照）

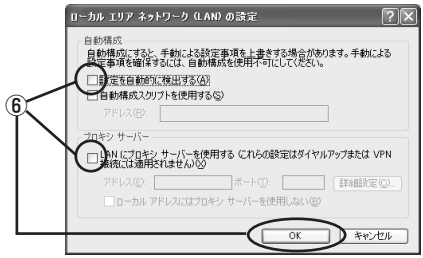
WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。
以下は Windows® XP/2000 Professional/Me および Windows Vista™ で Internet Explorer Ver.6.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（ソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

① Internet Explorer を起動する。
② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
③ [接続] タブをクリックする。
④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。



⑤ [LAN の設定] をクリックする。
⑥ [設定を自動的に検出する] と [LAN にプロキシサーバーを使用する] の ☑ を外して [OK] をクリックする。



⑦ [OK] をクリックする。

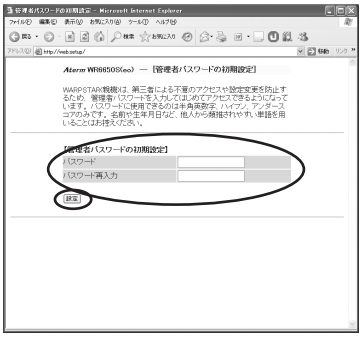
クイック設定 Web の起動のしかた

1 WWW ブラウザ（Internet Explorer など）を起動する

2 WWW ブラウザのアドレスに「http://web.setup/」と入力して、[Enter] キーを押す

※本機器の IP アドレス（お届け時は 192.168.0.1）を入力してアクセスすることもできます。

3 画面に従って任意の文字列（任意の半角英数字 64 文字まで）を入力し、[設定] をクリックする



管理者パスワードメモ欄 （パスワードはこちらに控えておいてください。）	

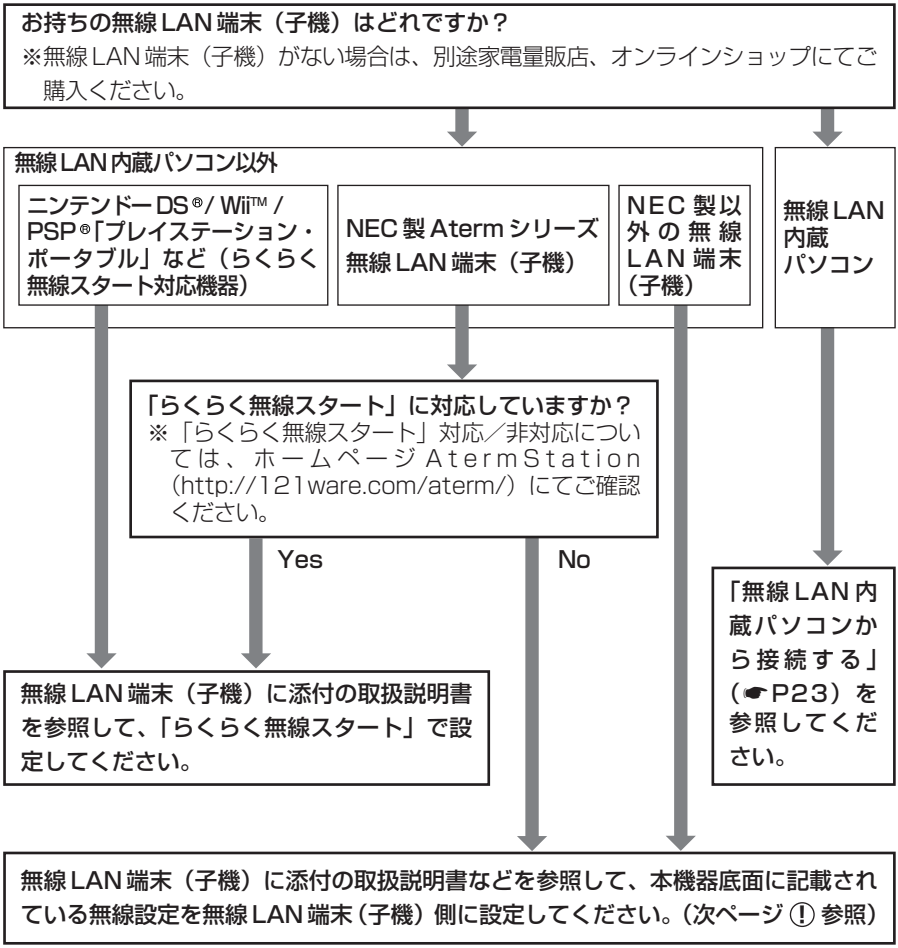
4 「クイック設定 Web」画面が表示される

管理者パスワードの設定が済んでからクイック設定 Web を起動した場合は、右の画面が表示されます。
ユーザー名に「admin」（半角小文字）、パスワードには設定した値を入力して、[OK] をクリックします。

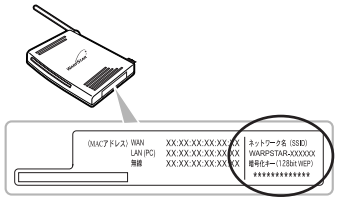
※管理者パスワードを忘れてしまった場合は、本機器を初期化して、はじめから設定をやり直してください。（☛P78「RESET スイッチで初期化する」参照）

無線 LAN をご利用になる場合

無線 LAN をご利用になるには、本機器の無線設定内容（お届け時は本機器底面に記載）を無線 LAN 端末（子機）側に適用する必要があります。設定方法は、接続する無線 LAN 端末（子機）によって異なりますので、以下で設定方法を確認してください。



本機器底面の無線設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する際は、下記のことにご注意ください。



- ●本機器はお届け時に暗号化設定（WEP ： 128bit（英数 13 桁））がされています。
- ●暗号化キーは、大文字と小文字、0（ゼロ）と O（オー）、8（ハチ）と B（ビー）などを間違えないように設定してください。なお、お届け時の設定では、O（オー）と小文字は使用しておりません。
- ●無線 LAN 端末（子機）が WEP ： 128bit に対応していない場合や暗号化キーを英数で設定できない場合は、本機器の設定が必要です。下記の方法で本機器の設定を行ってください。
  - ①パソコンを有線で接続する。（☛「つなぎかたガイド」（別紙）STEP5 参照）
  - ②クイック設定 Web を起動する。（☛P18「クイック設定 Web の起動のしかた」参照）
  - ③「詳細設定」メニューから「無線 LAN 側設定」を選択し、【暗号化】の設定を変更する。（☛P45「無線暗号化を設定する」参照）

本機器は「らくらく無線スタート」対応機種です。

「らくらく無線スタート」とは、本機器背面の「らくらくスタートボタン」の操作で無線 LAN の接続設定（SSID ・暗号化キーなどの設定）を簡単に行える機能です。
接続する無線 LAN 端末（子機）が「らくらく無線スタート」に対応していれば、「らくらく無線スタート」で設定することができます。
設定方法については、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ●無線 LAN 端末（子機）として使える機器については、ホームページ（http://support.eonet.jp/router/）にてご確認ください。

無線動作モードについて

本機器の無線動作モードは「IEEE802.11g+b」、「IEEE802.11g」、「IEEE802.11a」があり、お届け時は「IEEE802.11g+b」に設定されています。
「IEEE802.11g」や「IEEE802.11b」に対応した無線LAN端末（子機）をご利用になる場合は、このままご利用ください。
「IEEE802.11a」に対応した無線LAN端末（子機）をご利用になる場合は、本機器の無線動作モードを「IEEE802.11a」に設定する必要があります。以下の方法で設定してください。

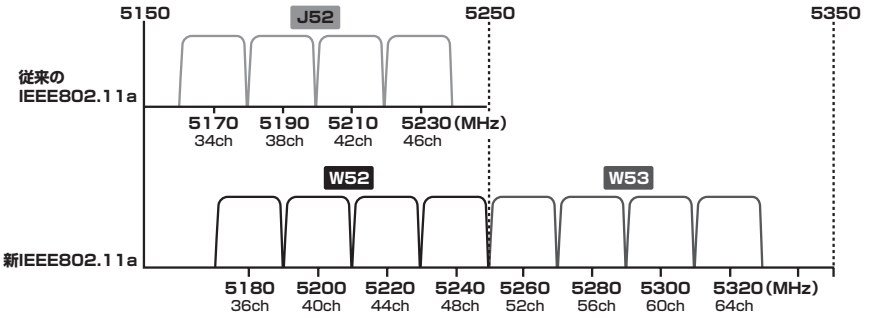
①パソコンを有線で接続する（☛「つなぎかたガイド」（別紙）STEP5参照）
②クイック設定Webを起動する（☛P18「クイック設定Webの起動のしかた」参照）
③「詳細設定」メニューから「無線LAN側設定」を選択し、【無線LANアクセスポイント（親機）設定】の「無線動作モード」で「802.11a」を選択する

「IEEE802.11a」のチャネルについて

「IEEE802.11a」で使用する周波数帯/チャネルに関して、2005年5月に総務省より「電波法施行規則の一部を改正する省令」が施行されたことにより、従来の「IEEE802.11a」で使用していた4チャネルが、諸外国で使用されているものと同じ割当に変更されました。さらに新しく4つのチャネルが追加されて、合計8チャネルが利用可能となり、より広い周波数帯域をご利用いただけるようになります。

これらのチャネルは、便宜的に、従来のチャネルを（J52）、新しく変更されたチャネルを(W52)、新しく追加されたチャネルを（W53）という3つのタイプで表します。

タイプ	チャネル	周波数帯域	補足
J52	34、38、42、46ch	5.2GHz帯 （5150－5250MHz）	2005年5月以前の従来のIEEE802.11aチャネル
W52	36、40、44、48ch	5.2GHz帯 （5150－5250MHz）	J52のIEEE802.11aの周波数を10MHzずらした、諸外国と同じ割当の新チャネル
W53	52、56、60、64ch	5.3GHz帯 （5250－5350MHz）	2005年5月以降に追加された新チャネル



なお、本機器では、「IEEE802.11a」の新チャネル（W52/W53）に対応しています。

新しいチャネル（W52/W53）と従来のチャネル（J52）は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

バージョンアップ対応機種などの最新情報は、ホームページ（http://support.eonet.jp/router/）にてご確認ください。

無線LAN端末（子機） 無線LANアクセスポイント（親機）	従来のIEEE802.11a対応 無線LAN端末（子機）	新IEEE802.11a対応 無線LAN端末（子機）
eo光ブロードバンドルータ（親機） （新IEEE802.11a対応）	×	◎ （W52/W53）
従来のIEEE802.11a対応 無線LANアクセスポイント（親機）	○ （J52）	○ （J52）
従来のIEEE802.11a対応の無線LANアクセスポイント（親機）で新チャネルに対応した場合	×	○ （W52）

◎：新チャネル「36,40,44,48ch（W52）」「52,56,60,64ch（W53）」を使用して、最大８チャネルが利用可能です。

○：新チャネル「36,40,44,48ch（W52）」または従来チャネル「34,38,42,46ch（J52）」を使用して、最大４チャネルが利用可能です。

×：利用不可。

無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

無線 LAN 内蔵のパソコンから、本機器に無線で接続してブロードバンドインターネット接続することができます。

※接続できる機器については、ホームページ（http://support.eonet.jp/router/）にてご確認ください。

■「らくらく無線スタート EX で設定する場合」（☛P24）
→Windows ® XP（Service Pack2）および Windows Vista™ の場合に設定することができます。

■「Windows ® のワイヤレスネットワークで設定する場合」（☛P30）
→Windows ® XP（Service Pack1 以前）の場合は、こちらを参照してください。

■「AirMac カード内蔵のパソコンから接続する場合」（☛P42）

お願い

●設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンや OS によって異なります。（Windows ® XP の場合でも専用のユーティリティを使用する場合があります。）設定方法の詳細については、パソコンなどのメーカーにお問い合わせください。

●パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより本機器の無線動作モードを変更する必要があります。クイック設定 Web で変更します。
・IEEE802.11g+IEEE802.11b モード（初期値）
・暗号化キー（128bit WEP）のお届け時の設定値は本機器底面のラベルを参照してください。（☛P20）

●本機器は、無線 LAN 規格 IEEE802.11a モードにおいて新チャネル（W52/W53）に対応しているため、旧チャネル（J52）では通信できません。（☛P21）
IEEE802.11a モードで旧チャネル（J52）のみに対応している無線 LAN 内蔵パソコンをご利用の場合は、IEEE802.11g+b モードでご利用ください。

●Super AG 対応の無線 LAN 内蔵パソコンをご利用の場合は Super AG 機能を利用した高速な無線 LAN 通信がご利用になれます。対応機器についてはホームページ（http://support.eonet.jp/router/）にてご確認ください。

●2005 年 5 月以降の NEC 製の個人向けパソコン（LaVie）では、あらかじめらくらく無線スタート EX が収録されている場合があります。その場合はパソコンの取扱説明書などを参照してインストールしたあと、「らくらく無線スタート EX で設定する場合」（☛P24）へ進んでください。

らくらく無線スタートEXで設定する場合

らくらく無線スタートEXは、無線LAN内蔵パソコンまたは無線LAN端末（子機）でWindows® XP（Service Pack 2）およびWindows Vista™のワイヤレスネットワーク設定を使って設定している場合にご使用になれます。
設定の際には、「ⓘらくらく無線スタートEXで設定を行う場合のご注意」（☛P26）を参照してください。

らくらく無線スタートEXをインストールする

次の手順でらくらく無線スタートEXをインストールします。

1 **パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯するなどパソコンのワイヤレス機能が使用でき、Windows® XP（Service Pack 2）およびWindows Vista™のワイヤレスネットワーク設定から無線設定ができる状態になっていることを確認する**

※無線設定を無線LAN内蔵パソコンの専用ユーティリティで行っている場合は、らくらく無線スタートEXで設定できません。専用ユーティリティの停止方法などそれぞれのパソコンのワイヤレス機能の使い方についてはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 **Windows® XP（Service Pack 2）およびWindows Vista™を起動する**

Administrator（権限のあるアカウント）でログオンしてください。

3 **添付のCD-ROM（らくらく無線スタートEX インストールディスク）をCD-ROMドライブにセットする**

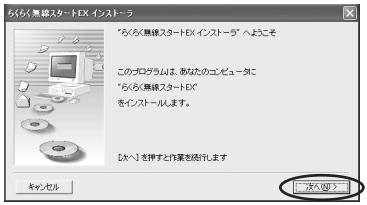
「メニュー画面」が表示されます。

4 **Windows® XP（Service Pack 2）をご利用の場合は、［らくらく無線スタートEX for XP SP2］の［CLICK］をクリックする**

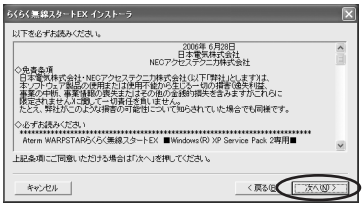
※ Windows Vista™をご利用の場合は、［らくらく無線スタートEX for Vista］の［CLICK］をクリックします。なお、ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合（タスクバーに表示される場合もあります）は、［許可］をクリックしてください。

5 **［次へ］をクリックする**

6 ［次へ］をクリックする

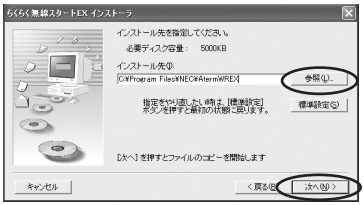


7 画面の同意書を読み、同意できる場合は［次へ］をクリックする



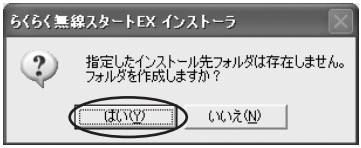
8 表示されたインストール先へインストールする場合は、［次へ］をクリックする

インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。



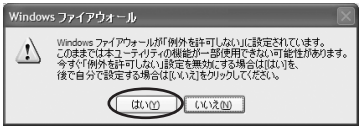
9 次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

インストールが開始されます。



10 次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

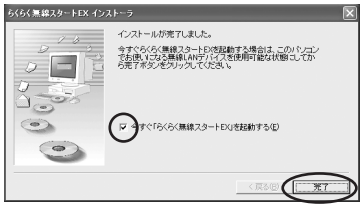
11 次の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする



（次ページに続く）

12 ［今すぐ「らくらく無線スタートEX」を起動する］にチェックが入っている（☑）ことを確認し、［完了］をクリックする

インストールが完了し、らくらく無線スタートEXが起動します。



! らくらく無線スタートEXで設定を行う場合のご注意

●らくらく無線スタートEXで設定を行う場合の利用条件は下記の通りです。
なお、下記条件を満たしていても相性的な問題により正しく動作しない場合もあります。その場合は、無線LAN内蔵パソコンに添付の取扱説明書などを参照して、本機器底面に記載されている無線設定を無線LAN内蔵パソコン側に設定してください。
（☛P20の!、P22参照）

【パソコンのOS】

Windows® XP（Service Pack 2）およびWindows Vista™であること（Windows® XP（Service Pack 1以前）/2000 Professional/Me/98SE/98では動作しません。）

【パソコンの設定】

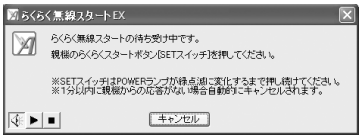
- Windows® XP（Service Pack 2）およびWindows Vista™のワイヤレスネットワーク設定を使って設定および制御されていること
- 他の無線LAN設定ソフトウェアは終了していること（利用不可状態でも通知領域（タスクトレイ）に常駐していると正しく動作しない場合があります。）
- 本機器に設定されている無線動作モードおよび暗号化モードに対応していること
- 他のネットワークアダプタが無効になっていること

●動作検証済みの機器については、ホームページ（http://support.eonet.jp/router/）にて順次公開予定です。

らくらく無線スタート EX で設定する

1 **次の画面が表示されることを確認する**

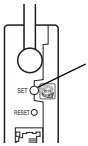
※右の画面が表示されてから 1 分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。



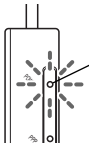
? らくらく無線スタート EX を起動するには

あとから、らくらく無線スタート EX を起動するときは、［スタート］をクリックし、［すべてのプログラム］－［らくらく無線スタート EX］－［らくらく無線スタート EX］をクリックします。

2 **本機器背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を押し、前面の POWER ランプが緑点滅になったら離す**



らくらくスタートボタン
（SETスイッチ）



POWERランプ

前面の POWER ランプが緑点滅になるまで押してください。

!

POWER ランプが約 10 秒間赤点灯した場合は、らくらく無線スタートに失敗しています。本機器側の暗号化を設定してください。（☛P45）MAC アドレスフィルタリングで接続できる無線 LAN 端末（子機）の登録がいっぱいになっていないことを確認してください。（☛P49）確認後、再度手順 1 から設定を行ってください。

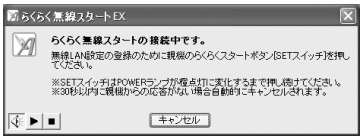
（次ページに続く）

3 らくらく無線スタートの準備ができているか確認する

※下の画面が表示されてから 30 秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

無線 LAN 内蔵パソコン

次の画面が表示されることを確認します。

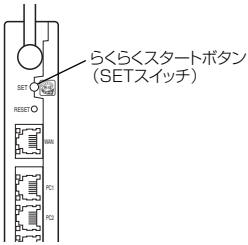


eo 光ブロードバンドルータ（親機）

登録準備ができると前面の POWER ランプが橙点滅します。

どちらか片方しか上記の状態になっていない場合は、他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。
無線 LAN 内蔵パソコンで［キャンセル］をクリックし、本機器の電源を入れ直して手順 1 から設定をやり直してください。

4 もう一度、本機器背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を押し、手順 5 の前面の POWER ランプが橙点灯状態になったら離す



5 無線設定が完了していることを確認する

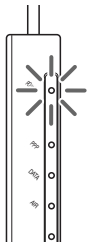
無線 LAN 内蔵パソコン

次の画面が表示されることを確認します。

eo 光ブロードバンドルータ（親機）

前面の POWER ランプが約 10 秒間橙点灯することを確認します。

失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点灯します。手順 1 から設定をやり直してください。



※前面の POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと緑点灯に戻ります。

6 パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

らくらく無線スタート EX での無線設定が完了します。

- ●本機器側で「MAC アドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線 LAN 内蔵パソコンが登録されていない場合は、らくらく無線スタート EX での無線設定登録のときに、MAC アドレスフィルタリングにも新たに登録されます。
  ただし、MAC アドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタート EX は失敗になります。
- ●本機器側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタート EX での設定をすることができます。

Windows® のワイヤレスネットワークで設定する場合

Windows® XP および Windows Vista™ のワイヤレスネットワークの設定を使って無線 LAN 内蔵パソコンと eo 光ブロードバンドルータ（親機）との無線通信の設定を行う場合は次の手順で行います。
ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書を参照して設定してください。

■ Windows® XP（Service Pack 1 以前）の場合（☛ 下記）
■ Windows® XP（Service Pack 2）の場合　（☛P34）
■ Windows Vista™ の場合　（☛P38）

Windows® XP（Service Pack 1 以前）の場合

1 **パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能が ON になっていることを確認する**

・ 点灯していない場合は、ワイヤレス機能を ON にしてください。
・ それぞれのワイヤレススイッチの ON ／ OFF のしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 **［スタート］ー［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［通信］ー［ネットワーク接続］をクリックする**

「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

3 **［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックする**

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 **［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックする**

5 **「Windows を使ってワイヤレスネットワークの設定を構成する」にチェックが入っていることを確認する**

6 ［最新の情報に更新］をクリックし、「利用できるネットワーク」欄から本機器のネットワーク名（SSID）をクリックして、「構成」をクリックする

※「ワイヤレスネットワークのプロパティ」が表示されます。

※本機器のお届け時のネットワーク名（SSID）は、本機器の底面に記載されています。（☛P20）

7 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

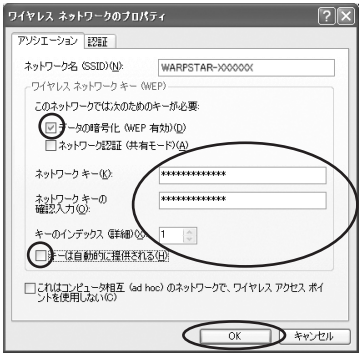
※本機器のお届け時のネットワーク名（SSID）、暗号化キー（WEP キー）は、本機器の底面に記載されています。（☛P20）

■Windows® XP（Service Pack 1）の場合

①[データの暗号化]にチェックする
（画面に［ネットワークアソシエーション］・［データの暗号化］の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する）

②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す

③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII 文字の場合：
　英数字 5 文字：
　本機器に 64bitWEP を設定している場合
　英数字 13 文字：
　本機器に 128bitWEP を設定している場合
　英数字 16 文字：
　本機器に 152bitWEP を設定している場合
・16 進数の場合：
　0～9・A～F で 10 文字：
　本機器に 64bitWEP を設定している場合
　0～9・A～F で 26 文字：
　本機器に 128bitWEP を設定している場合
　0～9・A～F で 32 文字：
　本機器に 152bitWEP を設定している場合

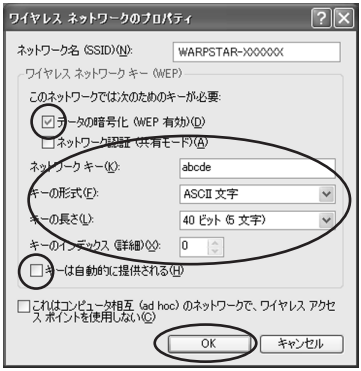


※画面は Windows® XP（Service Pack 1）の場合の例です。

（次ページに続く）

④本機器の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1のまま使用する
⑤[OK]をクリックする

■Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合



①[データの暗号化]にチェックする
②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
③[ネットワークキー]は、本機器に設定されている暗号化キーを入力する

キーの形式：

本機器で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII文字を選択してください。
本機器で「指定方法」を16進数と設定した場合は、16進数を選択してください。

キーの長さ：

本機器で「暗号化強度」を標準（64bit）と設定した場合は、40bitを選択してください。
本機器で「暗号化強度」を拡張（128bit）と設定した場合は、104bitを選択してください。

キーのインデックス：

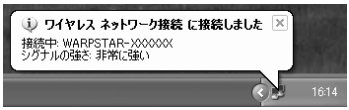
本機器で設定されている番号に合わせてください。キーのインデックス（詳細）が0～3と表示されますので、1～4と読み替えてください。（数字が1つずれていますので注意してください。）

※本機器側の番号は、クイック設定Webの［無線LAN側設定］－［暗号化（WEP）］で確認してください。

④[OK]をクリックする

8 [OK]をクリックする

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。



お知らせ

●セキュリティの設定を行うことで、ワイヤレスネットワークの外部からの不正なアクセスを困難にすることができます。

●本機器で暗号化キーが設定されている場合は、「ネットワークキー」に本機器と同じ暗号化キーを入力してください。本機器の暗号化キーの設定方法、確認方法については、P45を参照してください。ただし、本機器の暗号化の設定が152bitWEPやAES、TKIPを使用している場合は、接続できない場合があります。

●キーのインデックス（詳細）を本機器で設定されている番号に合わせてください。ただし、Windows® XP（Service Pack 1）適用前の場合は、キーのインデックス（詳細）が0～3と表示されますので、1～4と読み替えてください。（数字が1つずれていますので注意してください。）

Windows® XP（Service Pack 2）の場合

※らくらく無線スタートEXでも設定することができます。（☛P24）

1 **パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能がONになっていることを確認する**

・点灯していない場合は、ワイヤレス機能をONにしてください。
・それぞれのワイヤレススイッチのON／OFFのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 **［スタート］ー［すべてのプログラム］ー［アクセサリ］ー［通信］ー［ネットワーク接続］をクリックする**

「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されます。

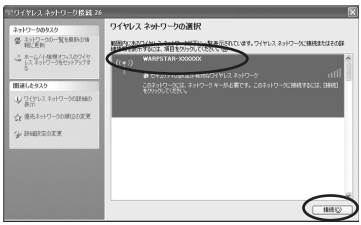
3 **［ワイヤレスネットワーク接続］を右クリックして、［プロパティ］をクリックする**

「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

4 **［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックする**

5 **［ワイヤレスネットワークの表示］をクリックする**

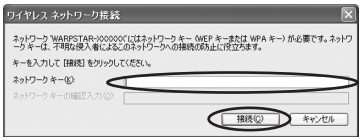
6 **本機器のネットワーク名（SSID）「WARPSTAR-XXXXXX」を選択し、［接続］をクリックする**



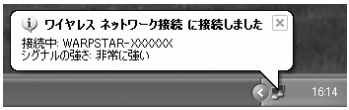
お知らせ

●本機器のネットワーク名（SSID）が表示されない場合は、一度本機器の電源を切り、再び電源を入れた後で、本機器前面ランプの点滅が終わるのを待ってから、［ネットワークの一覧（最新の情報に更新）］をクリックしてください。
●ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が有効となっている場合は、本機器のネットワーク名（SSID）が表示されません。ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）を解除してやり直してください。

7 本機器の暗号化キー番号が1番の場合（お届け時は1番）、［ネットワークキー］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックする



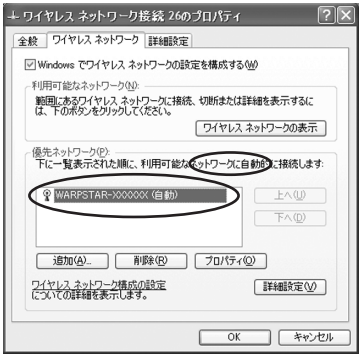
しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。



※キー番号に2番～4番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は［キャンセル］をクリックし、手順8に進みます。

8 ［詳細設定の変更］をクリックする

9 ［ワイヤレスネットワーク］タブをクリックし、本機器のネットワーク名（SSID）をクリックして、［プロパティ］をクリックする



10 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

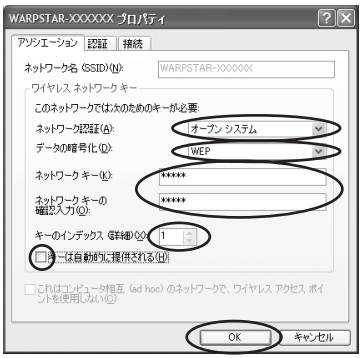
※本機器のお届け時の暗号化キーは、本機器底面に記載されています（☛P20）

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する

②[データの暗号化]で[WEP]を選択する

③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す



（次ページに続く）

④[ネットワークキー]に本機器の暗号化キーを入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
・ASCII文字の場合：
英数字5文字：
本機器に64bitWEPを設定している場合
英数字13文字：
本機器に128bitWEPを設定している場合
英数字16文字：
本機器に152bitWEPを設定している場合
・16進数の場合：
0～9・A～Fで10文字：
本機器に64bitWEPを設定している場合
0～9・A～Fで26文字：
本機器に128bitWEPを設定している場合
0～9・A～Fで32文字：
本機器に152bitWEPを設定している場合
⑤本機器に設定したキー番号を選択する
⑥[OK]をクリックする

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する
②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する
③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
8～63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63桁の場合

英数記号【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
"	&	*	.	<	@	^	|
#	'	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

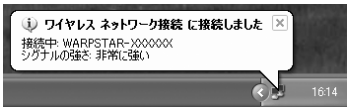
・64桁の場合

16進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

④[OK]をクリックする

しばらくすると、画面右下の通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。



Windows Vista™の場合

※らくらく無線スタートEXでも設定することができます。（☛P24）

1 **パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能がONになっていることを確認する**

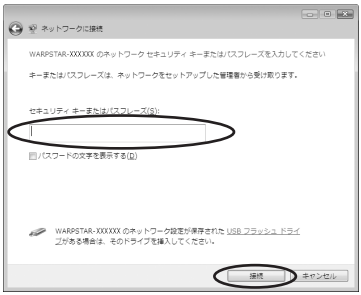
・点灯していない場合は、ワイヤレス機能をONにしてください。
・それぞれのワイヤレススイッチのON／OFFのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 **［スタート］ー［ネットワーク］ー［ネットワークと共有センター］ー［ネットワークに接続］をクリックする**

3 **本機器のネットワーク名（SSID）「WARPSTAR-XXXXXX」を選択し、［接続］をクリックする**

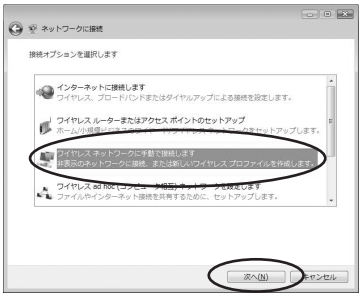
4 **本機器の暗号化キー番号が1番の場合（お届け時は1番）、［セキュリティーまたはパスフレーズ］に暗号化キーを入力し、［接続］をクリックして、手順13に進む**

※キー番号に2番～4番を使っている場合や、一度設定した暗号化設定を変更する場合は［キャンセル］をクリックし、手順5に進みます。



5 [接続またはネットワークをセットアップします] をクリックする

6 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



7 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※本機器のお届け時の暗号化キーは、本機器の底面に記載されています。(☛P20)

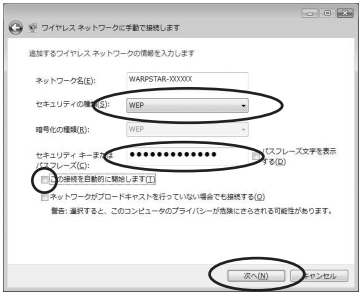
〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

①[ネットワーク名]で本機器のネットワーク名（SSID）を入力する

②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する

③[セキュリティキーまたはパスフレーズ]に本機器の暗号化キーを入力する
ASCII 文字/16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
本機器に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
本機器に 128bitWEP を設定している場合
英数字 16 文字：
本機器に 152bitWEP を設定している場合



（次ページに続く）

・16進数の場合：
0～9・A～Fで10文字：
本機器に64bitWEPを設定している場合
0～9・A～Fで26文字：
本機器に128bitWEPを設定している場合
0～9・A～Fで32文字：
本機器に152bitWEPを設定している場合

④[この接続を自動的に開始します]のチェックを外す

⑤[次へ]をクリックする

〈暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合〉

①[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]を選択する

②[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する

③[ネットワークセキュリティキー]を入力する

8～63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63桁の場合

英数記号【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
"	&	*	.	<	@	^	|
#	'	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

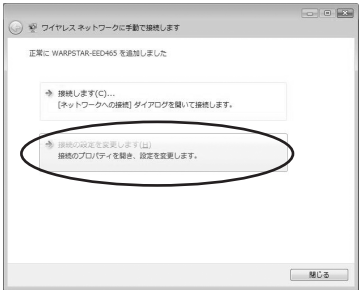
・64桁の場合

16進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

④[OK]をクリックする

8 **[接続の設定を変更します]をクリックする**



9 **[セキュリティ]タブをクリックして設定内容を確認する**

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、［キーインデックス］で本機器に設定したキー番号を選択します。

※画面は暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

10 **[OK]をクリックする**

11 **[接続します]をクリックする**

12 **本機器のネットワーク名（SSID）を選択し、[接続]をクリックする**

13 **[閉じる]をクリックする**

AirMac カード内蔵のパソコンから接続する場合

画面表示は Mac OS のバージョンなどにより、変わることがあります。
ここでは Mac OS X（v10.4 Tiger）の場合を例に説明しています。

1 アップルメニューの［システム環境設定］－［ネットワーク］アイコンをクリックする

2 ［表示］を［AirMac］にして、［AirMac］タブをクリックする

3 ［デフォルトの接続先］を［優先するネットワーク］にする

4 ＋ をクリックする

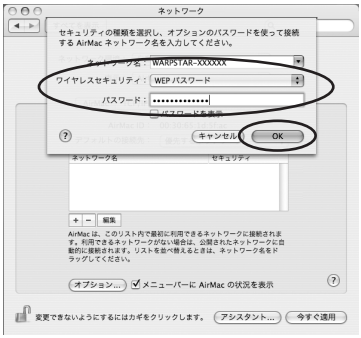
5 ［ネットワーク名］の ▼ をクリックして本機器のネットワーク名(SSID)を選択する

※ 本機器のお届け時のネットワーク名(SSID)、暗号化キー（WEP キー）は本機器の底面のラベルに記載されています。(☛P20)

お知らせ

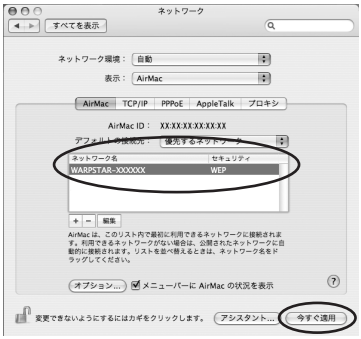
●ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）が有効となっている場合は、本機器のネットワーク名（SSID）が表示されません。ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）は無効にしてください。

6 ［ワイヤレスセキュリティ］の ▲▼ をクリックして［WEP パスワード］を選択し、［パスワード］で本機器の暗号化キー（本機器底面に記載）を入力して、［OK］をクリックする



7 [今すぐ適用] をクリックする

※ 他のネットワーク名がリストの一番上に表示されている場合は、本機器のネットワーク名（SSID）をリストの一番上にドラッグしてから、[今すぐ適用] をクリックしてください。



8 画面を閉じる

お知らせ

Mac OS 9.2.2 をご利用の場合

●Mac OS 9.2.2 のバージョンをご使用の場合は、次の手順で設定します。

① AirMac に接続した Macintosh を起動する

②アップルメニューから[コントロールパネル]−[TCP/IP]を選択する

③経由先を［Air Mac]、設定方法を［DHCP サーバを参照]に変更する

※ AirMac カードが内蔵されていないパソコンの場合は、経由先で［Air Mac］を選択できません。

④[TCP/IP］の画面を閉じる

⑤[保存］をクリックする

⑥アップルメニューから[Air Mac］を選択する

⑦[非公開ネットワークの選択を許可する］のチェックを入れる

⑧[ネットワークの選択］のプルダウンメニューから、本機器のネットワーク名（SSID）を選択して、パスワードを入力する

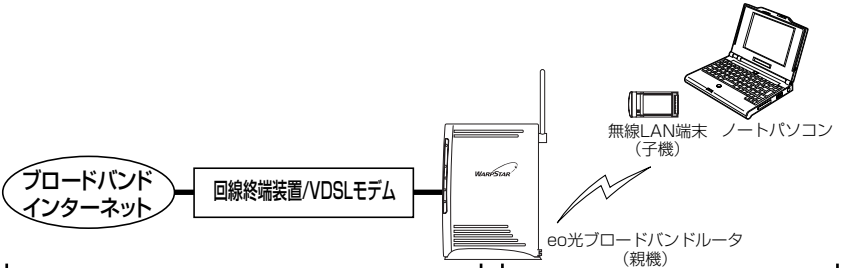
※ネットワークの選択リストに本機器のネットワーク名（SSID）がない場合は、[その他・・］を選択して、[名前］に本機器のネットワーク名（SSID)、[パスワード］に暗号化キーを入力します。

⑨[OK］をクリックして画面を閉じる

セキュリティ対策をする

セキュリティ機能について

本機器には、ブロードバンドからの不正なアクセスを防ぐ「WAN回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線LAN内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。
WAN回線側のセキュリティ対策については、「機能詳細ガイド」を参照してください。



WAN回線側セキュリティ機能

- IPパケット フィルタリング
- アドバンスドNAT (IPマスカレード／NAPT)
- 不正アクセス検出機能
- ダイナミックポート コントロール機能

機能詳細ガイド

無線LAN内ネットワークセキュリティ機能

- 暗号化※
- MACアドレスフィルタリング機能
- ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）

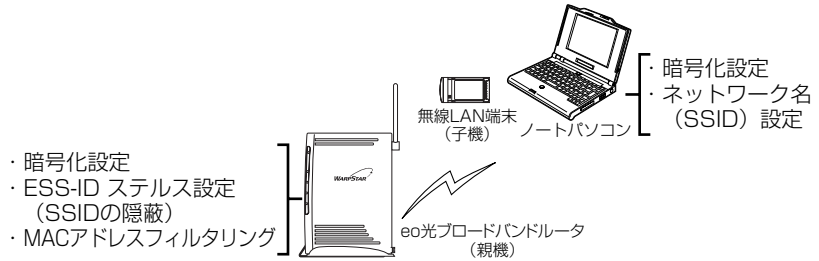
※本機器は、お届け時の状態ですでにWEP128bitの暗号化が設定されています。設定内容（初期値）は、本機器底面の設定ラベルを参照してください。(☛P20)

? セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。
  特に、インターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合には、その危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
  本機器の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
  また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行っていただくことをお勧めします。
- 無線LAN端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線LAN内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線LAN内のセキュリティ対策を行わない状態では、離れた場所からお使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。
  無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

他の無線LANパソコンから本機器に接続できないようにする

本機器は、他の無線LANパソコンから本機器や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、無線データの暗号化機能、ESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）、MACアドレスフィルタリング機能を搭載しています。無線LAN端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線LAN端末（子機）についてセキュリティの設定を行う必要があります。



無線暗号化を設定する

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）をeo光ブロードバンドルータ（親機）と無線LAN端末（子機）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

＜暗号化方式について＞

- **WEP（Wired Equivalent Privacy）**
  IEEE802.11で定められた暗号化方式。
- **TKIP（Temporal Key Integrity Protocol）**
  Wi-Fi Allianceの新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。
  パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEPよりさらに強固なガードを実現します。
- **AES（Advanced Encryption Standard）**
  米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。
  WEPよりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず本機器と無線LAN端末（子機）で同じ設定にしてください。（☛P20、P46）
- 暗号化キーは本機器1つにつき1つだけ使用します。複数の無線LAN端末（子機）を使用する場合、すべての無線LAN端末（子機）に本機器と同じ暗号化キーを設定してください。
- 本機器を初期化した場合は、お届け時の状態（WEP128bit（キーインデックス：1番））に設定されます。ネットワーク名（SSID）および暗号化キー（WEPキー）の内容（初期値）は、本機器底面の設定ラベルを参照してください。（☛P20）
- 1つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1つです。混在はできません。また、AES、TKIPの暗号化方式をご利用になるには、対応した無線LAN端末（子機）が必要です。

暗号化の設定（eo 光ブロードバンドルータ（親機））

本機器の暗号化の設定は、クイック設定 Web で行います。

お知らせ

●本機器は、お届け時に本機器の底面に記載されている暗号化の設定がされています。（☛P20）

1 **パソコンを起動する**

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

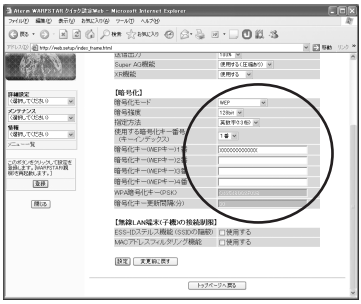
本機器の IP アドレスを入力しても開きます。
（お届け時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **「詳細設定」の をクリックし、［無線 LAN 側設定］を選択する**

5 **［暗号化］の項目で設定する**



■暗号化モードで WEP を使用する場合

①［暗号化モード］で［WEP］を選択する
②暗号化強度を「64bit」「128bit」「152bit」から選択し、指定方法を選択する
「64bit」（弱）＜「128bit」＜「152bit」（強）の順で強い暗号がかかります。
③［指定方法］から暗号化キーの種類を［英数字］または［16 進］のどちらかを選択する
※［英数字］→英数字（0～9、a～z、A～Z）の組み合わせで暗号を作成します。
［16 進］→ 16 進（0～9、a～f、A～F）の組み合わせで暗号を作成します。
※指定した暗号化強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。
④［使用する暗号化キー番号］を 1 番～ 4 番で選択する
⑤指定した番号（1 番～ 4 番）に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

■暗号化モードで［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を使用する場合

①［暗号化モード］で［WPA-PSK（TKIP)］、または［WPA-PSK（AES)］を選択する

②［WPA 暗号化キー］を入力する

暗号化キーは、8～63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・8～63 桁の場合

英数記号【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	;	?	]	{
"	&	*	.	<	@	^	|
#	'	+	/	=	[	_	}
$	(	,	:	>	\	`	~

※「\」（バックスラッシュ）はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

・64 桁の場合

16 進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

③［暗号化更新時間］で暗号化の更新時間を入力する

更新時間は、0（更新なし)、1～1440 分の間で設定できます。

6 **［設定］をクリックする**

7 **［登録］をクリックする**

本機器が再起動します。（暗号化キーを設定していない無線 LAN 端末（子機）から接続できなくなります。無線 LAN 端末（子機）の暗号化の設定を行ってください。）

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定する

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと無線通信ができません。
一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※本機器独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。

1 **パソコンを起動する**

（次ページに続く）

2 **WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く**

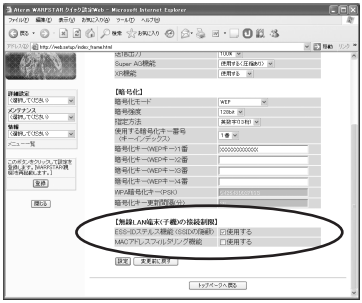
本機器の IP アドレスを入力しても開きます。
（お届け時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 **ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする**

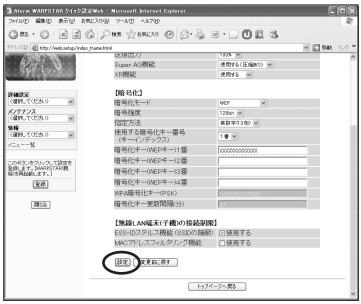
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 **「詳細設定」の をクリックし、［無線 LAN 側設定］を選択する**

5 **［ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）］を［使用する］に する**



6 **［設定］をクリックする**



7 **［登録］をクリックする**

本機器が再起動します。

MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末（子機）から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

＜クイック設定 Web で設定する＞

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本機器の IP アドレスを入力しても開きます。
（お届け時は 192.168.0.1 です。）
例： http://192.168.0.1/

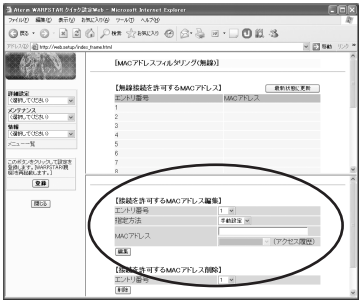
3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「詳細設定」の をクリックし、［MAC アドレスフィルタリング］を選択する

5 ［接続を許可する MAC アドレス編集］欄で設定する

①エントリ番号を選択する
②指定方法を選択する
　手動設定：MAC アドレスに直接無線接続を許可する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを入力します。
　選択設定：MAC アドレス（アクセス履歴）から選択し登録をします。



③手動設定の場合は、登録する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを入力する
MAC アドレスは 2 文字ずつコロンで区切って入力してください。
例）MAC アドレスが xx-xx-xx-xx-xx-xx と入力する場合は、xx:xx:xx:xx:xx:xx と入力します。
無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスは無線 LAN 端末（子機）に記載されています。
選択設定の場合は、「接続履歴」または「接続拒否履歴」から登録する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを選択します。

6 ［編集］をクリックする

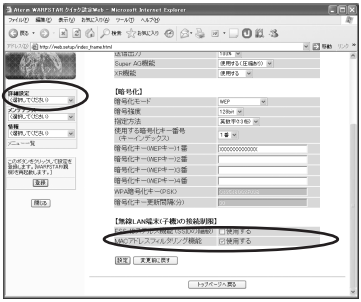
続けて設定する場合は、手順 5 にもどってエントリ番号を変えて設定してください。

（次ページに続く）

7 **［最新状態に更新］をクリックする**

設定内容に間違いがないか確認してください。

8 **「詳細設定」の をクリックし、［無線 LAN 側設定］で、［MAC アドレスフィルタリング機能］を［使用する］に する**



9 **［OK］をクリックする**

10 **［設定］をクリックする**

11 **［登録］をクリックする**

本機器が再起動します。

! 無線 LAN 端末（子機）として WL54SE（ETHERNET ボックス）を使用している場合

本機器で MAC アドレスによる接続制限（MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、WL54SE（ETHERNET ボックス）の無線クライアントモードによって次のように設定してください。

＜ WL54SE（ETHERNET ボックス） の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合＞

WL54SE（ETHERNET ボックス）の底面に記載されている無線の MAC アドレスを登録することで無線接続する WL54SE（ETHERNET ボックス）を制限できます。

＜ WL54SE（ETHERNET ボックス）の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合＞

WL54SE（ETHERNET ボックス）の底面に記載されている無線の MAC アドレスと WL54SE（ETHERNET ボックス）に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→WL54SE（ETHERNET ボックス）では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、LINK ランプが消灯し、WL54SE（ETHERNET ボックス）に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。(WL54SE（ETHERNET ボックス）の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。)

なお、既に LINK ランプが点灯している WL54SE に、MAC アドレスが未登録の端末を接続すると通信できてしまいます。

トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。
該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本機器を初期化し（☛P77）、初めから設定し直してみてください。
ただし、初期化を行うと本機器のすべての設定がお届け時の状態に戻りますのでご注意ください。なお、初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。
（→クイック設定 Web の［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］にて保存できます。）

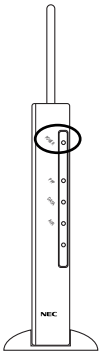
・設置に関するトラブル ☛ 下記
・無線 LAN に関するトラブル ☛P57
・ご利用開始後のトラブル ☛P62
・パソコンのネットワークを設定する ☛P66
・ JavaScript® の設定を確認する ☛P72

設置に関するトラブル

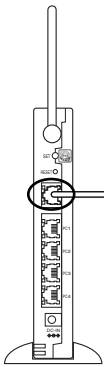
どこまで設置、設定できているのかをご確認のうえ、トラブルに対する原因と対策をご覧ください。

本機器前面の POWER ランプは緑点灯していますか？ →いいえ（a 参照 ☛P52）
↓はい
本機器背面の WAN ポート状態表示 LED は緑または赤点灯していますか？ →いいえ（b 参照 ☛P52）
↓はい
パソコンに IP アドレスが設定されていますか？ →いいえ（c 参照 ☛P54）
↓はい
設定後、本機器前面の PPP ランプが緑点灯していますか？ →いいえ（d 参照 ☛P55）
↓はい
インターネットに接続できましたか？ →いいえ（e 参照 ☛P56）

a.本機器前面のPOWERランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
POWERランプが緑点灯しない 	電源が入っていません。 ●ACアダプタ（電源プラグ）が外れている →ACアダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ●ACアダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている →電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると本機器に供給されている電源も切れてしまいます。 ●ACアダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐにACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから外してケイ・オプティコムお客様センターへお問い合わせください。（☛P84） ●本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b.本機器背面のWANポート状態表示LEDが緑または赤点灯しない

症　状	原因と対策
WANポート状態表示LEDが緑または赤点灯しない 	●回線終端装置／VDSLモデムの電源が入っていない →回線終端装置／VDSLモデムの電源を入れて、正しく回線のLINKが確立できていることを確認してください。 ●本機器のWANポートが回線終端装置／VDSLモデムにLANケーブルで正しく接続されているか確認してください。 WANポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。

症　状	原因と対策
WAN ポート状態表示 LED が緑または赤点灯しない （つづき）	●本機器の WAN ポートと本機器の PC ポート（PC1）を添付の LAN ケーブルで接続してみる。 WAN ポート状態表示 LED が点灯する場合 本機器は、問題ありません。 回線終端装置／ VDSL モデムが故障している可能性があります。 点灯しない場合 本機器を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は本機器の故障の可能性があります。ケイ・オプティコムお客様センターへお問い合わせください。（☛P84）

c.パソコンにIPアドレスが設定されていない

現　象	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	●パソコンのネットワークの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。(☛P66) パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本機器の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する b. 次の手順でIPアドレスを取り直す **＜Windows® XPおよびWindows Vista™の場合＞** ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］キーを押す ③IPアドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」になることを確認する **＜Windows® 2000 Professionalの場合＞** ①［スタート］－［プログラム］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」と入力して［Enter］キーを押す ③IPアドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」になることを確認する **＜Windows® Me/98SE/98の場合＞** ①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする ②「winipcfg」と入力して［OK］をクリックする ③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから、使用しているEthernetアダプタ名を選択する ④［解放］をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認する 「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは［OK］をクリックする ⑤［書き換え］をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する

d.本機器前面のPPPランプが緑点灯しない

現　象	原因と対策
PPPランプが５分以上橙点滅し続けている	●設定に失敗しています。 設定環境が整っていないことが考えられます。 本機器の電源を切り、再度「つなぎかたガイド」を参照して接続・設定をやり直してください。
PPPランプが緑赤点滅をしている	●設定が失敗しました。 サービス提供上の問題が発生しています。 ケイ・オプティコムお客様センターへお問い合わせください。(☛P84)
PPPランプが赤点滅をしている	●設定が失敗しました。 サービス提供上の問題が発生しています。 ケイ・オプティコムお客様センターへお問い合わせください。(☛P84)
PPPランプが速い緑点滅をしている	●回線終端装置/VDSLモデムのWAN側が接続されていることを確認してください。 VDSLをご使用の場合、リンクが確立していることを確認してください。
PPPランプが遅い緑点滅、速い緑点滅を繰り返している	●ケイ・オプティコムお客様センターへお問い合わせください。(☛P84)
PPPランプが消灯している	●WANポートが接続されていないことが考えられます。WANポートの接続を確認してください。

e.インターネットに接続できない

現　象	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	● WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 →パソコンの「インターネットのプロパティ」の［接続］で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(☛P17「WWW ブラウザの設定確認」参照)
接続できない	●「eo 接続ツール」などの PPPoE 接続専用ソフトを、パソコンに入れたまま使用していませんか。または、Windows® の PPPoE 機能を使用していませんか。 →本機器を利用する場合は「eo 接続ツール」などの PPPoE 接続専用ソフトまたは Windows® の PPPoE 機能は使用しないでください。インターネット接続の設定は本機器の「つなぎかたガイド」(別紙) を参照してください。 ●インターネット接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、本機器の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
接続に成功してもホームページが開けない	●ケイ・オプティコムお客様センターへお問い合わせください。(☛P84)

無線LANに関するトラブル

現　象	原因と対策
ネットワーク名（SSID）を忘れてしまった	●本機器のお届け時のネットワーク名（SSID）は、本機器の底面にあるラベルに記載されています。（☛P20） ●本機器のPCポートに接続したパソコンから、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］内の「無線LANアクセスポイント（親機）設定」で確認することもできます。 ●Atermシリーズの無線LAN端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で、「スキャン」をクリックして本機器を検索してください。ネットワーク名（SSID）とアクセスポイント名で本機器を識別できます。
データ保護設定（暗号化）のキーを忘れてしまった	●本機器のお届け時の暗号化キーは、本機器の底面にあるラベルに記載されています。（☛P20） ●PCポートに接続したパソコンから、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］内の「暗号化」で確認することもできます。
らくらく無線スタートが成功しない	●本機器の暗号化が解除されている →クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］内の「暗号化」で暗号化設定を行ってください。（☛P46） ●本機器のMACアドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている →その場合はらくらく無線スタートの設定ができません。クイック設定Webの［詳細設定］－［MACアドレスフィルタリング（無線）］で設定を確認してください。 ●本機器の無線動作モードが802.11aで、J52のみ対応の無線LAN端末（子機）や無線LAN内蔵パソコンを設定しようとしている →本機器と802.11aの周波数帯／チャネルが異なるため802.11aモードではご利用になれません。 W52/W53に対応した無線LAN端末（子機）で設定してください。 ●パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトが動作している →設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ●パソコンに設定された固定IPアドレスが本機器のネットワーク体系とあっていない →パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバーを参照」になっていることを確認してください。（☛P66「パソコンのネットワークを設定する」参照）

（次ページに続く）

現　象	原因と対策
らくらく無線スタートが成功しない （つづき）	●Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合、古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている →古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールし、らくらく無線スタート対応のユーティリティをインストールし直してから行ってください。 ●本機器のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている →らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になったらいったん離します。無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書の手順に従ってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。 ●無線 LAN 端末（子機）のほかにネットワークデバイス（ETHERNET ボードなど）が動作している → ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合 LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。 ●らくらく無線スタート EX の場合、無線 LAN 内蔵パソコン専用の設定ユーティリティなどが動作している →無線 LAN 内蔵パソコン専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ●本機器と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →本機器に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。WEP（128bit）に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合、本機器の設定を変更する必要があります。
無線 LAN 端末（子機）から本機器に接続できない	●本機器の電源が入っているか、確認してください。 ●本機器との距離が離れすぎていないか、確認してください。 ●Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合は、ランプのつき方を確認してください。 消灯している場合は、無線 LAN 端末（子機）が本機器を正しく認識していません。本機器との通信の設定をやり直してください。 ●無線 LAN 端末（子機）に WL54AG（無線 LAN カード）を使用している場合は、サテライトマネージャの［ネットワーク一覧］で、チェックの入っている接続先を選び直してみてください。

現　象	原因と対策
無線LAN端末（子機）から本機器に接続できない （つづき）	●ネットワーク名（SSID）があっているか、確認してください。 本機器の設定値は、クイック設定Webの［詳細設定］－［無線LAN側設定］内の「無線LANアクセスポイント（親機）設定」で確認できます。 ※本機器のお届け時のネットワーク名（SSID）は、本機器の底面にあるラベルに記載されています。（☛P20） ●暗号化設定（暗号化方式、強度、暗号化キー）があっていることを確認してください。 暗号化キーは、大文字、小文字の区別がありますので、注意して入力してください。また、パソコンや無線LANカードによっては暗号化強度、暗号化キーの呼び方が異なる場合がありますのでご注意ください。 （例）暗号化強度 WEP64bit→40bit WEP128bit→104bit 暗号化キー Windows® XPのワイヤレスネットワークでは「ネットワークキー」 MacintoshのAirMacでは「パスワード」 ●通信モードがあっているか、確認してください。 本機器との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※Atermシリーズの無線LAN端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名」をクリックし、「設定」をクリックして確認します。 ●コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。お互いを数メートル以上離してお使いください。 ●近くに隣接する無線チャネルを使っている場合は、無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。
本機器と無線LAN端末（子機）の電波状態が悪い	●電波の届く範囲まで無線LAN端末（子機）を移動したり、本機器と無線LAN端末（子機）の向きを変えたりして電波状態を確認してください。

現　象	原因と対策
無線状態が良好なのに、通信できない	●〈IPアドレスの再取得〉（☛P64）を参照して、IPアドレスが取得できるか確認してください。 ●固定IPアドレスでお使いの場合は、本機器と無線LAN端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 （例：本機器が192.168.0.1のとき、無線LAN端末（子機）は192.168.0.X） ●他のLANカードまたは、LANボードの機能を停止させてください。
無線状態が良好なのに、速度がでない	●近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況表示」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →Atermシリーズの無線LAN端末（子機）をご利用の場合は、サテライトマネージャ[プロパティ]－[状態]の「チャネル状況表示」で使用しているチャネルを確認し、クイック設定Webで使用する無線チャネルの番号を変更してください。 →クイック設定Webを起動して[詳細設定]－[無線LAN側設定]内の[無線LANアクセスポイント(親機)設定]の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードがIEEE802.11g、IEEE802.11g+bモードの場合、他の無線設備が使用しているチャネルから4チャネル以上ずらすようにしてください。 ・無線動作モードIEEE802.11g、IEEE802.11g+bモードの場合： 設定値 1～13 ・無線動作モードIEEE802.11aモードの場合： 設定値 36,40,44,48ch（W52）、 52,56,60,64ch（W53） ※ただし、新しいチャネル（W52/W53）と従来のチャネル（J52）は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。 詳細は、機能詳細ガイド[無線機能の使い方]－[機能一覧（無線）]の「IEEE802.11a無線LAN」を参照してください。 ●本機器と無線LAN端末（子機）が近すぎる →1m以上離してください。 →Atermシリーズの無線LAN端末（子機）をご利用の場合はサテライトマネージャで「送信出力」を下げてみてください。 その場合、遠くにある無線LAN端末（子機）から接続しにくくなります。

現　象	原因と対策
AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛ぶ	●Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）をご利用の場合、サテライトマネージャの設定で「ストリーミングモード」が「自動」のときに、画像の乱れや音声の途切れなどが発生する場合は、「ON」に設定してください。 ●AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。 ●無線状態が悪い（本機器との距離が離れすぎている） →電波状態が良好となるところに移動してください。
Windows® XP の［ワイヤレスネットワーク］の設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	●バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして、「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ●無線 LAN 端末（子機）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。いったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。

ご利用開始後のトラブル

●クイック設定 Web に関する問題

・ WWW ブラウザで設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

現　象	原因と対策
WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない	●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。本機器の IP アドレスがお届け時の場合は「http://192.168.0.1/」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ●お使いのパソコンにプロキシの設定をしていませんか。 →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ①［ツール］－［インターネットオプション］－［接続］－［LAN の設定］の順にクリックする ②［プロキシサーバーを使用する］の［詳細設定］をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ●お使いのパソコンにファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、（パソコンによっては、あらかじめインストールされている場合があります。）本機器の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本機器の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。
WWW ブラウザで本機器にアクセスすると、ユーザー名とパスワードを要求される 	●WWW ブラウザで本機器にアクセスすると、ユーザー名とパスワードを要求されます。 →ユーザー名には、［admin］を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで本機器に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。

現　象	原因と対策
クイック設定 Web が開かない	●JavaScript® を無効に設定している。 →WWW ブラウザの設定で JavaScript® を有効に設定してください。（☛ P72「JavaScript® の設定を確認する」参照）
	●PC ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。 →パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。（☛P66）

・クイック設定 Web の操作ができない

現　象	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	●本機器をお届け時の状態に初期化してください。（☛P78「RESET スイッチで初期化する」参照） →この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。 ただし、クイック設定 Web の［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復旧させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。保存方法については、「機能詳細ガイド」を参照してください。（「機能詳細ガイド」はホームページ（http://support.eonet.jp/router/）からご覧ください。）
［設定］をクリックしても、状態が反映されない	●［登録］をクリックしていない。 →各設定項目において、［設定］をクリックしただけでは状態は反映されません。 左側フレーム内の［登録］をクリックし、本機器を再起動する必要があります。
［登録］をクリックした後に、「ページを表示できません」と表示される	●本機器が再起動しているためです。 →［登録］をクリックすると、本機器が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。 WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。

現　象	原因と対策
時々通信が切れる	●回線終端装置／VDSLモデムやeo光電話をお使いの場合は、eo光電話アダプタのトラブルシューティングをご確認ください。
途中から通信速度が遅くなった	
通信が切断されることがある	
使用可能状態において突然「IPアドレス 192.168.0.XXX　は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●［OK］をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行ってIPアドレスを再取得してください。 **【IPアドレスの再取得】** **＜Windows XPおよびWindows Vista™の場合＞** ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す ③IPアドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」になることを確認する **＜Windows 2000® Professionalの場合＞** ①［スタート］－［プログラム］－［コマンドプロンプト］をクリックする ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押す ③IPアドレス（IP Address）が「192.168.0.XXX」になることを確認する **＜Windows® Me/98SE/98の場合＞** ①［スタート］－［ファイル名を指定して実行］をクリックする ②「winipcfg」を入力して［OK］をクリックする ③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択する ④［解放］をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になることを確認する 「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤［書き換え］をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する

現　象	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 →電源を切ったあとは、10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。 ●パソコンにIPアドレスが自動取得されていません。 →IPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本機器の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で取得してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる（起動後、前ページを参照して再度パソコンのIPアドレスを確認する。） b.前ページの【IPアドレスの再取得】を行う ●回線終端装置／VDSLモデムやeo光電話をお使いの場合は、eo光電話アダプタのトラブルシューティングをご確認ください。
本機器が正常に動作しないが、原因がわからない	●設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、本機器を初期化してお届け時の状態に戻し、最初から設定し直してください。（☛P77）
本機器のバージョンを確認したい	●クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。

パソコンのネットワークを設定する

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows® をご利用の場合（☛P66 ～ P70）
Mac OS をご利用の場合（☛P71）

■ Windows® をご利用の場合

Windows® XP をご利用の場合

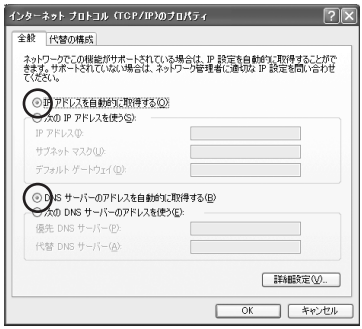
1 ［スタート］ − ［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

お知らせ

- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- 本書では、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示モード）を前提に記述しています。

Windows Vista™ をご利用の場合

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークと共有センター］をクリックし、［ネットワーク接続の管理］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ユーザアカウント制御の画面が表示された場合は、［続行］をクリックする

5 ［インターネットプロトコル（TCP/IPv4）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

※IPv6 をご利用の場合は、［インターネットプロトコル（TCP/IPv6）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

6 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

※IPv6 をご利用の場合は、［IPv6 アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択します。

7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

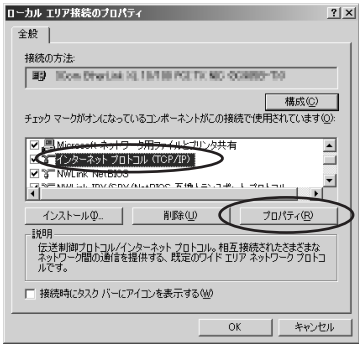
Windows® 2000 Professional をご利用の場合

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

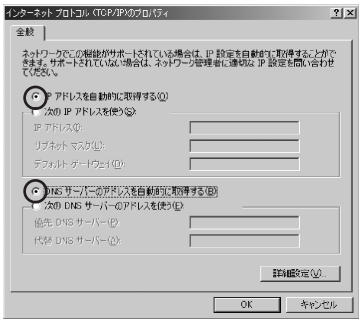
2 ［ネットワークとダイヤルアップ接続］アイコンをダブルクリックする

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 リストの［インターネットプロトコル（TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする



5 ［IP アドレスを自動的に取得する］と［DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する



6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］をクリックする

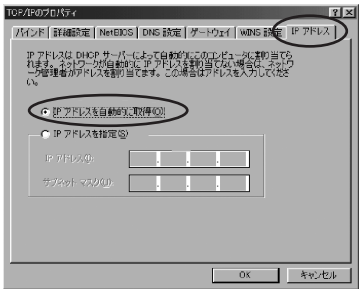
Windows® Me/98SE/98 をご利用の場合

1 ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択する

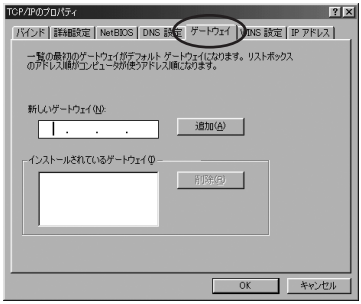
2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする

3 リストの［TCP/IP–>（お使いのLANカードまたはお使いのLANボード）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

4 ［IPアドレス］タブをクリックし、［IPアドレスを自動的に取得］を選択する

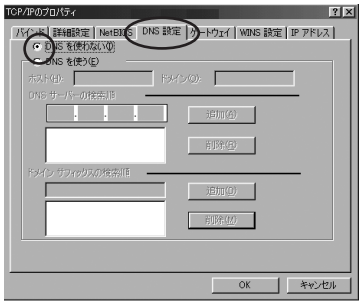


5 ［ゲートウェイ］タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



（次ページに続く）

6 ［DNS 設定］タブをクリックし、［DNS を使わない］を選択する



7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

■Mac OS をご利用の場合

Mac OS X をご利用の場合

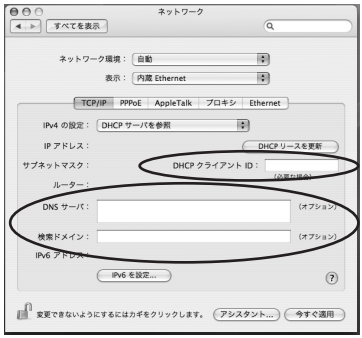
1 アップルメニューの［システム環境設定］－［ネットワーク］アイコンをクリックする

2 ［表示］を［内蔵 Ethernet］にし、［TCP/IP］タブをクリックする

3 ［IPv4 の設定］（または［設定］）を［DHCP サーバを参照］にする

4 ［DHCP クライアント ID］と［DNS サーバ］、［検索ドメイン］を空白にする

画面は、Mac OS X（v10.4 Tiger）の例です。



5 ［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

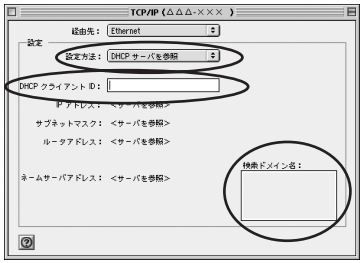
Mac OS 9.x/8.x をご利用の場合

1 アップルメニューの［コントロールパネル］－［TCP/IP］を開く

2 ［経由先］を［Ethernet］にする

3 ［設定方法］を［DHCP サーバを参照］にし、［DHCP クライアント ID］と［検索ドメイン名］を空白にし、ウィンドウを閉じる

画面は、Mac OS 9.2 の例です。



4 確認のダイヤログが表示されたら［保存］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

JavaScript ® の設定を確認する

WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript ® の設定を有効にする必要があります。

※WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本機器の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定できない場合は、以下の手順で JavaScript ® を「有効にする」に設定してください。

Internet Explorer の場合

Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Internet Explorer Ver.6.0 を使用している場合の例です。なお、Windows® 2000 Professional/Me/98 および Windows Vista™ で設定する場合や、Internet Explorer Ver.5.5 以上を使用している場合にも下記と同様の手順で設定できます。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］－［クラシック表示に切り替える］－［インターネットオプション］をダブルクリックする

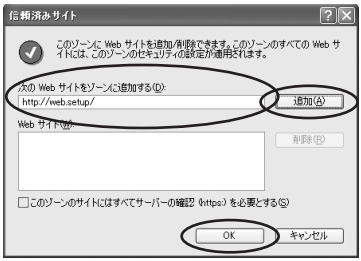
2 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

3 ［サイト］をクリックする

4 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする］のチェックを外す

5 ［次の Web サイトをゾーンに追加する］に「http://web.setup/」を入力し［追加］をクリックし、［OK］をクリックする

※ IP アドレス（お届け時は 192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、「192.168.0.1」（または設定した IP アドレス）と入力します。



6 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

7 画面をスクロールして、［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

Mac OS で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Mac OS で Internet Explorer Ver.5.1 を使用している場合の例です。
なお、Ineternet Explorer Ver.5.1 以上を使用している場合も下記と同様の手順で設定できます。

1 インターネットエクスプローラを起動してメニューバーの［Explorer］から［環境設定］をクリックする

2 ［Web ブラウザ］から［セキュリティゾーン］をクリックする

3 ［ゾーン］から［信頼済みサイトゾーン］をクリックする

4 ［サイトの追加］をクリックする

5 ［追加］をクリックする

（次ページに続く）

6 「http://web.setup/」と入力する

※ IP アドレス（お届け時は 192.168.0.1）を入力して設定画面を開く場合には、「192.168.0.1」（または設定した IP アドレス）と入力します。

7 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする] のチェックを外す

8 [Web ブラウザ] から [Web コンテンツ] をクリックする

9 [アクティブコンテンツ] で、[スクリプトを有効にする] にチェックを入れる

10 [OK] をクリックし、メニューバーの[Explorer]から[Explorer 終了]をクリックする

※ Internet Explorer を一度終了させないと、設定は反映されません。

Netscape® の場合

Windows® で Netscape® をご利用の場合

以下は、Windows® XP で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。
なお、Windows® 2000 Professional/Me および Windows Vista™ で設定する場合や、Netscape® 7.0 以上を使用している場合にも下記と同様の手順で設定できます。

1 Netscape® を起動する

2 メニューバーから［編集］－［設定］をクリックする

3 ［カテゴリ］の中から［詳細］－［スクリプトとプラグイン］をクリックする

4 ［JavaScript を有効にする］の［Navigator］にチェックを入れる

5 [OK] をクリックする

Mac OS で Netscape® をご利用の場合

以下は、Mac OS で Netscape® 7.1 を使用している場合の例です。
なお、Mac OS で Netscape® 6.1 以上を使用している場合も下記と同様の手順で設定できます。

1 Netscape® を起動する

2 メニューバーから［Netscape］－［環境設定］をクリックする

3 ［カテゴリ］の中から［詳細］－［スクリプトとプラグイン］を選択する

4 ［JavaScript を有効にする］の［Navigator］にチェックを入れる

5 ［OK］をクリックし、メニューバーの［Netscape］から［Netscape を終了］をクリックする

※ Netscape® を一度終了させないと、設定は登録されません。

遠隔サポートについて

遠隔サポートとは、お客様がケイ・オプティコムお客様センターへお問い合わせいただいた際に、機器の状態などを確認するために、お客様センター内サポート用特定端末から本機器の設定内容の閲覧／操作を行える機能です。ケイ・オプティコムお客様センターの指示に従って操作をお願いいたします。

サポート用特定端末から遠隔サポートを行うためには、以下の方法で、遠隔サポートを許可する設定を行う必要があります。なお、初期状態では、遠隔サポートができない設定（許可しない）となっています。
操作については、ケイ・オプティコムお客様センターの指示に従ってください。

遠隔サポートを許可する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザ（Intenet Explorer など）を起動し、アドレスに「http://web.setup/rmt.html」と入力して、「遠隔サポートアクセス制御画面」を開く

3 「＜遠隔サポートについて＞」をよく読み、［許可する］をクリックする

［許可する］をクリックすることで、本機器から自動的にお客様の情報が送信されることはありません。
また、遠隔サポートによるアクセスは本機器が対象であり、遠隔サポートによりお客様のコンピュータへのアクセスはできません。

お知らせ

●遠隔サポートを［許可する］に設定した場合は、
・無線 LAN に関係する設定などのお客様 LAN 内の接続情報
・本機器の動作記録
などのクイック設定 Web の内容が、ケイ・オプティコムお客様センターにて閲覧／操作できるようになります。

●遠隔サポートを［許可する］に設定した場合でも、一定時間（1 時間程度）経過すると、自動的に［許可しない］設定となり、遠隔サポートができなくなります。
お客様センターの指示に従って、延長操作を行ってください。

●遠隔サポートを中断する場合は、「遠隔サポートアクセス画面」を開き、［許可しない］をクリックしてください。
なお、WWW ブラウザの更新をクリックすると、最新の遠隔サポート設定状態を確認できます。

本機器の初期化

初期化とは、本機器に設定した内容を消去してお届け時の状態に戻すことをいいます。対処をしても問題が解決しない場合は、本機器を初期化することをお勧めします。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、お届け時の状態に戻りますのでご注意ください。
なお、初期化を行っても、購入後にお客様がバージョンアップした本機器のファームウェアはそのままです。
初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

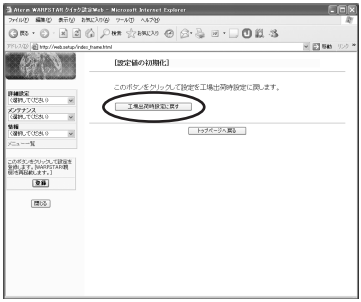
本機器の IP アドレスを入力しても開きます。（お届け時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」の をクリックし、［設定値の初期化］を選択する

5 ［工場出荷時設定に戻す］をクリックする



6 ［OK］をクリックする

本機器が再起動します。

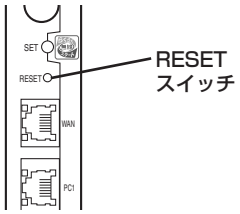
RESETスイッチで初期化する

本機器のRESETスイッチを使って初期化を行います。RESETスイッチは、背面にあります。

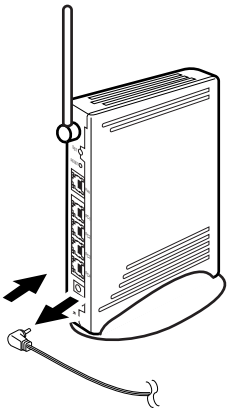
1 本機器の電源が入っていることを確認する

2 本機器の背面にあるRESETスイッチをつまようじのうしろなどで押し続け、POWERランプが赤点滅を始めたら離す

POWERランプが赤点滅するまで約6秒 ～ 10秒かかります。



3 本機器からACアダプタのプラグをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む



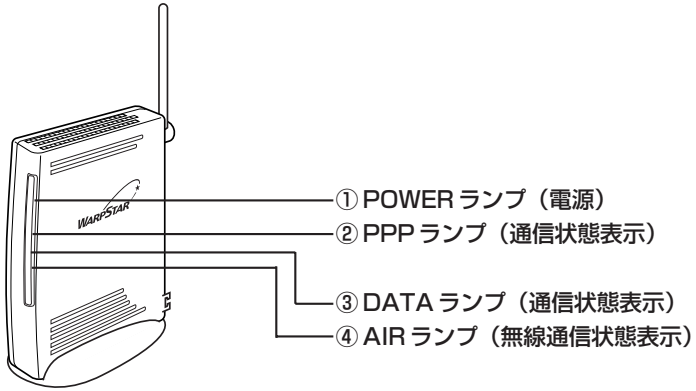
お願い

- 本機器の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 本機器は、お届け時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定もお届け時の設定（本機器の底面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、本機器の設定を変更するか、無線LAN端末（子機）の暗号化設定もお届け時の状態（本機器の底面に記載）に戻してください。（☛P20）

各部の名前

本機器各部の名前および機能を説明します。

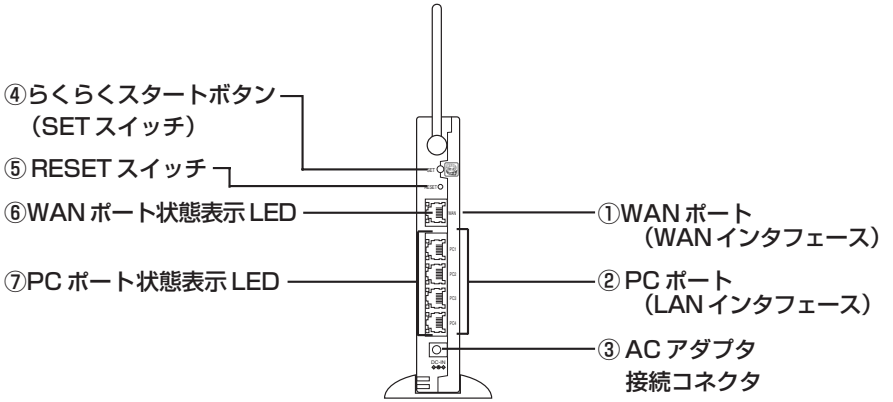
●前面図



【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色（つきかた）	本機器の状態
①POWER ランプ（電源）	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき、またはらくらく無線スタートの設定が完了したとき
	緑（点滅）／橙（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき
	赤（点滅）	初期化準備状態のとき
	赤（点灯）	らくらく無線スタートの設定が失敗したとき
②PPP ランプ（通信状態表示）	緑（点灯）	PPPoE 接続で PPP リンクが確立しているとき
	緑（遅い点滅）	PPP 認証が失敗したとき（1 秒間隔）（☛P55）
	緑（速い点滅）	PPP 接続で相手から応答がないとき（☛P55）
	橙点滅	「つなぐだけネットスタート」動作中のとき
	赤点滅	「つなぐだけネットスタート」に失敗したとき（☛P55）
	緑赤点滅	
	消灯	PPP 未接続のとき
③DATA ランプ（通信状態表示）	緑（点滅）	PC ポートに接続された機器が本機器とデータの送受信をしているとき または無線で接続された機器が WAN 側とデータの送受信をしているとき
④AIR ランプ（無線通信状態表示）	緑（点灯）	無線動作モードが IEEE802.11g＋b モードに設定されているとき
	緑（点滅）	IEEE802.11g＋b モードでデータ送受信中
	橙（点灯）	無線動作モードが IEEE802.11a モードに設定されているとき
	橙（点滅）	IEEE802.11a モードでデータ送受信中
	赤（点滅）	IEEE802.11a モードで 52,56,60,64ch（W53）を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に干渉する電波（レーダー波）がないか検出しているとき

●背面図



名　称	説　明		
①WAN ポート（WAN インタフェース）	回線終端装置／ VDSL モデムとの接続に使用します。		
②PC ポート（LAN インタフェース）	パソコンまたはゲーム機などとの接続に使用します。		
③AC アダプタ接続コネクタ	WR6650S 用 AC アダプタを接続します。		
④らくらくスタートボタン（SET スイッチ）	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。		
⑤RESET スイッチ	初期化するときに使用します。（☛P78）		
⑥WAN ポート状態表示 LED	緑	点灯	回線終端装置／ VDSL モデムが接続され、100Mbps でリンクが確立しているとき
		点滅	回線終端装置／ VDSL モデムと 100Mbps でデータ送受信中
	赤	点灯	回線終端装置／ VDSL モデムが接続され、10Mbps でリンクが確立しているとき
		点滅	回線終端装置／ VDSL モデムと 10Mbps でデータ送受信中
⑦PC ポート状態表示 LED	緑	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、100Mbps でリンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などと 100Mbps でデータ送受信中
	赤	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、10Mbps でリンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などと 10Mbps でデータ送受信中

確認シート

お問い合わせの際には、あらかじめ以下の確認シートにご記入のうえ、お問い合わせください。

●お客様宅内環境確認シート

■お客様情報

●お客様氏名

●お客さま ID

■他接続事業者への契約状況（以前に申し込みをされた場合も含めてご記入ください。）

1.なし
2.あり（事業者名：　　契約時期：　　年　　月頃）

■パソコン環境

●コンピュータ環境
1.メーカー製　メーカー名（　　）型番（　　）
2.自作機

●ご利用 OS
1.Windows Vista™　2.Windows® XP　3.Windows® 2000 Professional
4.Windows® Me　5.Windows® 98SE（Second Edition）
6.Windows® 98　7.Mac OS（Ver.　　）　8.その他

●インターネット関連ソフトウェア（利用しているものに○をつけてください）
a.ウィルス対策ソフト（製品名：　　）
b.ファイアウォールソフト（製品名：　　）
c.インターネット表示高速化ソフト（製品名：　　）

●周辺機器の有無
1.なし　　2.あり（機器名など：　　）

■ LAN 環境

●ご利用の LAN アダプター名

●ハブを利用して複数台のパソコンを接続していますか？
1.1 台のみ　　2.複数台を接続（　　）台

●ハブ、ブロードバンドルータ（BR）、無線 LAN の使用
1.なし　　2.あり　種類：（ハブ・ BR ・無線 LAN）　製品名（　　）

■ご自宅・周辺環境

●住居形態

1.一軒家（　　）階建　　2.集合住宅（アパート・マンション・公団住宅）（　　）階

●周辺環境（ご自宅のお近くにある該当するものすべてに○をつけてください。）

1.鉄道　　2.高速・高架道路　　3.大きな河川・湖　　4.高圧送電線
5.電波塔・アンテナ　　6.放送局　　7.工場　　8.空港
9.自衛隊・米軍基地　　10.その他（　　）

●宅内環境（本機器設置周辺の電源を利用している状況を確認してください。）

a.本機器の１ｍ以内にノイズ源がある（冷蔵庫、電子レンジ、TV、ステレオなど）	はい・いいえ
b.本機器をパソコンの上に載せている	はい・いいえ
c.本機器の電源をたこ足配線でとっている	はい・いいえ
d.本機器の周囲に電源タップがある	はい・いいえ

e.その他

状況確認シートにもご記入をお願いいたします。

●接続状況確認シート

お問い合わせいただく前に、ご記入ください。

■本機器のランプの点灯／点滅状況	
各ランプの機能についてはホームページ（http://support.eonet.jp/router/）を参照してください。	
●前面	
POWER	緑点灯、緑点滅、赤点灯、赤点滅、橙点灯、橙点滅、緑橙点滅、緑赤点滅、消灯
PPP	緑点灯、遅い緑点滅、速い緑点滅、赤点滅、橙点灯、橙点滅、緑橙点滅、緑赤点滅、消灯
DATA	緑点滅、消灯
AIR	緑点灯、緑点滅、赤点滅、橙点灯、橙点滅、消灯
●背面	
WAN ポート状態表示LED	緑点灯、緑点滅、赤点灯、赤点滅、消灯
PC ポート状態表示LED	緑点灯、緑点滅、赤点灯、赤点滅、消灯
■その他（ハブ、無線 LAN などで複数台のパソコンを接続している方のみお答えください。）	
●ハブなどを取り除き、1台のみで接続して状況は改善しましたか？	はい・いいえ
● その他、ご質問などございましたらご記入ください。（お困りになっていることなど）	

お問い合わせ

お問い合わせについて

接続ができない、うまく設定ができない場合は、本書の「トラブルシューティング」をご参照のうえ、下記のケイ・オプティコムお客様センターへお問い合わせください。

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- 回線接続の条件などについてのお問い合わせは、下記のケイ・オプティコムお客様センターへお願いいたします。

eo 光ネットに関するお問い合わせ

●ケイ・オプティコムお客様センター お問い合わせ受付時間：年中無休 9:00 ～ 21:00

151（eo 光電話から）
0088-240-017（携帯電話・PHS からもご利用いただけます）
050-7105-6333（eo-net フォン・IP 電話から）

eo 光ネット登録証に記載されておりますお客さま ID をご確認のうえ、お客様センターへお問い合わせください。
電話番号をよくお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。間違い電話が多くなっており、類似の番号をお持ちのお客様にご迷惑をおかけしております。

●ホームページ　http://support.eonet.jp/

本機器の輸送時のお取扱いについて

故障やレンタルの解約などで、本機器を返却する際には、本機器一式（添付品含む）をお送りください。また、輸送時の破損を防ぐために、本機器の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材に梱包してください。

■本機器で使用しているソフトウェアについて

本機器は、セキュリティ確保のため、自動設定時に通信を暗号化しています。
通信の暗号化には、OpenSSL プロジェクトで作成された OpenSSL Toolkit ソフトウェアを使用しています。
OpenSSL Toolkit ソフトウェアは世界で広く使用されており、ライセンス規約を順守することによって無料で使用できます。
以下に OpenSSL Toolkit のライセンス規約（原文）を記載します。
なお、本機器のマニュアルなどで記載されている通常の使用においては、ライセンス規約に違反することはありません。

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright ® 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
   "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

WIDE Project

Copyright ® 1995-1997 Akihiro Tominaga
Copyright ® 1995-1997 WIDE Project
All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied,

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
   This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER ``AS IS'' AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

END USER LICENSE AGREEMENT

1. **License Grant and Limitations.** The End User License Agreement shall state that:
   Licensee grants the end user ("End User") a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User's archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User's rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

2. **Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.** In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

3. **Third Party Beneficiary.** The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:
   Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 ("Wind River"), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User's use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

4. **U.S. Government Use.** All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be "commercial computer software" and "commercial computer software documentation", respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be "technical data-commercial items" pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

5. **Export Restrictions.** The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

お願い

- **パソコンの設置や操作方法**などについてのお問い合わせは、**各パソコンのサポートセンター**などへお願いいたします。
- **回線接続の条件**などについてのお問い合わせは、ケイ・オプティコムお客様センター（☛P84）へお願いいたします。

NECアクセステクニカ株式会社
Aterm WR6650S（eo）ご利用ガイド　第1版

AM1-000472-001
2006年12月

この取扱説明書は、古紙配合率100%再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK 大豆インキを使用しています

AM1-000472-001X